

滋賀県道路整備アクションプログラム
地域別アクションプログラム（高島地域）第1回地域ワーキング

議 事 概 要

日 時：令和4年8月1日（月） 14時00分～16時00分

場 所：高島合同庁舎2階 2-A会議室

出席者：今村 忠彦 委員（座長）（NPO法人SMSA持続可能管理協会びわこ 理事長）

小崎 富美子委員（高島交通安全協会 副会長）

福田 久司 委員（高島市商工会 会長）

藤田 幸典 委員（高島警察署 交通課長）

前川 為夫 委員（びわ湖高島観光協会 会長）

松本 美和子委員（介護保険認定審査委員 介護保険事業計画等策定委員会委員）

柳生 徹 委員（高島市 都市整備部部長）

欠席者：饗庭 正昭 委員（公募委員）※別途意見提出

（五十音順）

1. 開会挨拶

2. 委員紹介

3. 地域ワーキング設置要領の確認、座長選出

4. 地域ワーキング

（1）地域ワーキングの位置づけと進め方について

- ・事務局より地域ワーキングの位置づけと進め方について説明を行った。

（2）資料説明「第1回地域ワーキング」

- ・事務局より第1回地域ワーキングについて説明を行った。

（3）意見等 自由討議

○各委員からの主な意見等については以下のとおりである。

【災害対策について】

- ・緊急の迂回路として、国道 367 号がその指定に耐えうる環境にあるのか。高速道路、緊急輸送路が高島市にも確保されているのか懸念。
- ・流通、陸上輸送、災害時の避難道路の整備を強く望む。

【交通安全対策について】

- ・道路が整備されて地域の中に細かく道ができたのに比例して、事故も多くなった。ヒヤリとすることも多い。
- ・子どもの通学路や園児の散歩コースについて、歩道の設置、ガードパイプやガードレールの設置を進めてもらいたい。
- ・道路整備が進む中で、大型車両の増加により安心して道路が歩けない環境となっている。子どもや小学生、通学路で、いつ事故が起きてもおかしくない。交通安全対策が大事だと思う。
- ・車と人を分ける整備は無理だと思うが、運転手に注意喚起をはかること。冬季を含め、どんな時期でも安全に安心して通れる道路整備を。

【道路ネットワークの整備について】

- ・北陸新幹線との連携で、小浜や敦賀に行く道ができるとより発展すると思う。
- ・コンパクトシティが進んで人を中心に集めると道路事情は変わる。
- ・広域的に考えると、大津に向かっての流れが厳しい。できればもう一本道路があればと思う。長いスパンの話になるが、国道 161 号の改良と合わせて並行路線の整備も進めてもらいたい。
- ・国道 161 号が南方向に大渋滞した場合の迂回路がない。大津方面に行くのに国道 161 号以外に道がない。
- ・県道と湖周道路とつなぐ道ができると良いと思う。
- ・高島市に入ってから道は良くなったが、高島と小松をつなぐ道を 1 つ増やしてほしい。

【道路空間の創出について】

- ・橋梁の右側にだけ歩道が整備されている箇所がある。子どもが斜めに横断したりしていて危ない。まだ追加で整備されるのかどうか気になっている。

【交通渋滞対策について】

- ・白髭の渋滞をどうにかしてもらいたい。高島から志賀町に行こうと思うとそこしか道がない。
- ・湖西に高速道路がないので、トラックがいつも渋滞している。何かあった時にも、道が一本しかない。事故も多いので、課題だと思う。
- ・交流人口で交通量が多い。バイパスが混んでいる。

【道路等の維持・管理について】

- ・山間の中を走る路線では、災害や台風で倒木があると通行できなくて孤立することもあるので、解消のために木を切っていただく要望をしている。

【その他について】

- ・空飛ぶ自動車について、各自治体で実証実験をしているところもある。観光にも交通にも良く、空飛ぶ自動車は琵琶湖にもってこいだと思う。10年、20年先を考えると、琵琶湖に空飛ぶ車が飛んでいるだけでも楽しい。渋滞緩和にもつながると思う。
- ・高島市と連携して整備について広くPRをしてもらいたい。